



VOICE

優しい指導医のもとで医学への興味が強まった

山崎 綾太 (3年、大阪府)

特に基礎科目をある程度身につけている2、3年生はすごく楽しめると思いました。2年生は解剖、生理学の知識の大切さがわかり、3年は臨床科目の現場を知ることができてとても面白いと思います。また外科よりも内科に興味がある人、医学の知識に自信がなくて優しい担当医に教わりたい人、勉強のモチベが低下している人にもおすすめです。

どうしてその実習先を選んだのか？

地域医療について学びたかった

特に地域医療について学びたかったからです。青森県の医療においてよく耳にする地域医療という言葉。授業でも何度も聞いたことはありましたが、実際どうしているのか、何が特徴なのかを知りたかったので、街に根ざした地域医療を行っている三戸中央病院を選びました。

実習先の良かったところは？

医学に対する興味がより強くなった

地域医療の現場を見せてもらえて、自分が今まで学んできた基礎科目、これから学んでいく臨床科目が臨床の現場でどのくらい重要で意味のあるものなのかを学ばせて頂きました。この経験によって、勉強に対するモチベーションが上がり、医学に対する興味がより強くなりました。

また、地域医療に従事する医師の姿を見て、自分自身の描く将来の医師像や、患者が求める理想の医療について考えさせられ、キャリア形成という面で大いに役立ちました。

実習の流れ

三戸中央病院の実習スケジュール

総合外来研修



午前

外来・検査の見学

- ◆ 院内見学
- ◆ 小児・救急・一般外来の見学
- ◆ 内視鏡検査の見学
- ◆ 超音波検査の見学
- ◆ 経鼻カテーテルの見学

実際に内視鏡を行う現場を始めて見て、授業で習ったことを目の前で観れて楽しさを感じました。

他の業務の隙間時間に外来を手伝っている様子を見て、医師の体力、気力を感じました。

午後

診察・学校保健会

- ◆ 救急外来の見学
- ◆ 写真見せに参加
- ◆ 学校保健会の見学

急患患者の腹痛の箇所から病気を推定し、検査をし、病気を特定する創造力と知識に医師のすごさを感じました。

病院だけでなく、町の健康問題まで考える多忙さを実感しました。また、地域との距離の近さを感じました。

Q & A

実習参加者の声

Q1. どのような医師になりたいですか？

地域の人々から慕われるような小児科医になりたいです。病院嫌いな方でも「この先生なら診てもらいたい」と思ってもらえるような医師を目指しています。

Q2. 最初に立てた目標は？

医師の仕事を直接みるのは初めてだったので、とりあえず先生の1日の流れを学ぼうという気持ちでした。

Q3. 三戸中央病院までのアクセスは？

弘前駅から三戸駅まで新幹線や青い森鉄道で乗り継いで行きました。駅から病院までは徒歩10分程度でした。

Q4. 実習に向けて準備したことは？

血液検査の項目を復習して行きました。他は特に予習せずに行きました。

Q5. 宿泊場所はどんなところですか？

病院の寮に泊まりました。キッチンも電気ケトルもお風呂道具も揃ったアパートの一室のような感じでした。

Q6. 食事はどうしましたか？

昼食は病院食を、朝食と夕食は近くのコンビニで買って過ごしていました。

Q7. 食費はどれくらいかかりましたか？

1日あたり1,200円くらいだと思います。

Q8. 持ち物は？

下着、パジャマ、バスタオルが必要でした。実習には実習着（ケーシー）やメモ帳があれば大丈夫でした。

Q9. 衣類以外の持ち物は？

バスタオルと化粧水、歯ブラシ、メモ帳などです。近くにコンビニがあったので現地調達も可能です。救急外来の待ち時間に勉強時間をとってくれたので、勉強道具もあればいいかなと思います。

